

# 長崎市役所往訪報告書

**訪問日時:**2026年4月10日

**場所:**長崎市役所

**面談者:**

長崎市 市民生活部 文化振興課

課長 栗浦恵美氏

係長 笹垣匡史氏

松浦有紀氏

## 1. 訪問概要

4月10日、長崎市役所を訪問し、長崎県への説明と同様に、夢ノ社の活動概要、ショパン音楽大学との連携、ならびに本公演の趣旨について説明を行い、協力を依頼した。

本事業は、ショパン音楽大学の学生および関係者(約45~50名)の来日による公演で、長崎および広島と連動した「平和」をテーマとする点を強調した。

## 2. 公演および交流事業の構想

公演は夕方開催を想定しており、出演者は前日来崎・当日宿泊の行程となるため、公演当日の日中に交流プログラムを実施する余地がある。

交流内容については現時点で固定せず、長崎側の意向を踏まえ柔軟に検討する方針とし、以下のような可能性について意見交換を行った。

- ・ 長崎大学との音楽交流
- ・ 学生・子ども向けワークショップ
- ・ 市民参加型の交流企画
- ・ 平和関連施設の訪問や学習機会

特に長崎大学における音楽活動との連携の可能性が話題となった。

## 3. 公演内容と平和発信

公演は以下の構成で検討している。

- ・ 第1部:ショパンを中心としたクラシック演奏
- ・ 第2部:東京オペラ協会との共演による平和テーマのプログラム

第2部では、キリシタンを題材としたオペラ「忘れられた少年」のハイライト等を予定しており、文化・歴史・平和を結びつけた内容とする。

また、広島大学では本事業に対し、平和教育の観点から積極的な関与が検討されていることを紹介し、長崎においても平和都市としての特性を活かした発信の重要性を共有した。

#### 4. 費用およびチケット方針

渡航費・宿泊費等の主要費用はポーランド側が負担予定であり、長崎市に対して大きな財政負担を求め  
るものではないことを説明した。

一方で、航空費高騰の影響もあるため、チケット収入や寄付等による補完の可能性についても言及した。

チケットについては、

- ・ 学生は可能な限り無料
- ・ 市民は参加しやすい価格設定
- ・ 過去実績を踏まえ約 3,000 円程度

を想定していることを説明した。

#### 5. 長崎市への協力依頼

長崎市に対しては、以下の点について協力を依頼した。

- ・ 公演・交流事業に関する助言
- ・ 大学・音楽関係団体等の紹介
- ・ 広報および告知への協力
- ・ 地域ネットワークとの橋渡し

また、長崎の音楽連盟や楽器店等を活用した告知・チケット販売の可能性、企業協賛による支援の可能性  
についても意見交換を行った。

#### 6. ポーランドとの連携可能性

本事業は単発の公演にとどまらず、将来的なポーランドとの文化・観光交流の発展につながる可能性を有  
する。

ポーランドは親日的であり、巡礼文化を持つカトリック圏であることから、長崎のキリシタン関連資産や世  
界遺産との親和性が高く、今後の訪問者増加や交流拡大が期待されることを説明した。

#### 7. 今後の進め方

今後は、5 月末頃までに事業の大枠を確定し、6 月前半にはショパン音楽大学関係者の再訪も視野に入れ  
ながら、具体的な協議を進める予定である。

長崎市の後援についても内諾を得る。夢ノ社事務局より手続きを進め、引き続き長崎市と連携しながら本  
事業の具体化と成功に向けた準備を進めていく。

#### 8. 総括

本往訪により、長崎市に対し本事業の趣旨と意義を共有するとともに、地域の音楽・文化ネットワークや広  
報手法等について有益な示唆を得ることができた。

本事業は、音楽を通じた国際交流であると同時に、長崎の平和都市としての価値を発信する重要な機会  
であり、長崎独自の平和発信と国際交流の形を具体化していく機会であることを強調した。